

# ほけんだより



22.11.26

太田市立蕪川小学校

朝夕の冷え込むが一段と厳しくなり、本格的な冬の到来が近づいてきました。

これからの季節はかぜやインフルエンザが流行する時です。規則正しい生活習慣を心がけ、外から帰ったら必ず、うがい・手洗いなど一人ひとりが健康管理をしっかりし、この冬を元気に過ごせるようにしましょう。



## 感染性胃腸炎に気をつけて！

新聞等で報道されていますが感染性胃腸炎の患者が急増しているようです。

感染性胃腸炎は、細菌、ウイルス（ノロウイルス、ロタウイルスなど）等によっておこる胃腸炎です。ノロウイルスを主な原因とする感染性胃腸炎は、感染力が強く人が集まる場所や家庭で流行することが多い感染症です。

### ○主な症状

原因となる病原体によって症状は異なりますが、吐き気、嘔吐、下痢、発熱、腹痛などで子どもから高齢者に至る全年齢で発症します。

### ○予防法は

#### 手洗いの励行・うがい・マスク

患者の嘔吐物や便に含まれる病原体によって人から人へ感染がおこります。食事の前・トイレ後は石けんでていねいに手を洗いましょう。手拭き用タオルは共用しないようにしましょう。

### ○症状がでたら？

嘔吐・下痢などの症状がでたら医療機関で診てもらいましょう。

### ○嘔吐物等の処理

嘔吐物の処理をする際は手袋を使い、素手で触らないようにしましょう。なお、周囲に広がらないように注意し、塩素系消毒剤による消毒が効果的です。

処理後はよく手洗いをしましょう。

## 12月1日は 世界エイズデー！

WHO(世界保健機関)は、1988年に世界的レベルでのエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的に、毎年12月1日を “World AIDS Day” (世界エイズデー) として、エイズに対する知識の普及を呼びかけています。

## エイズ (AIDS) とは

エイズ (AIDS) とは、エイズウイルス (HIV) に感染して起こる病気で、感染すると病原体などから体を守る「免疫」という働きがこわされていきます。その結果、様々な感染症などにかかってしまう病気です。

人間には、目に見えない多くの微生物と一緒に暮らしています。その中には、病気を起こす微生物がいます。それでも病気にならないのは、人間の体の中に、病原体から体を守る「免疫」という働きがあるからです。その働きの主役は白血球です。

ところが、エイズウイルス (HIV) は白血球の一つであるリンパ球の中で増え、これをこわします。そのため侵入する病原体から体を守る働きがなくなり、ふだん病気を起こさないような病原体によっても重い感染症が引き起こされるのです。

## エイズについての正しい知識

エイズウイルス (HIV) の感染力は弱く、感染経路は限られています。学校などの普通の生活で感染することはありません。

- ①握手などではうつらない
- ②蚊やダニなどえはうつらない
- ③お風呂やプールなどではうつらない。
- ④セキやくしゃみ、だ液、汗、涙などからはうつらない。
- ⑤洋式トイレの便座や電車のつり革など、器物からはうつらない。

菰川小児童保健委員会では、世界エイズデーに向けて以下の活動をしました。

### ・メッセージキルト製作

メッセージキルトは教頭先生、熊倉先生に指導をしていただき作成しました。

メッセージキルトとは、エイズ感染者や患者への支援や、エイズについての自分たちの気持ちや考えを表現するために作られるものです。

このキルトは5年1組の保健委員のアイデアをもとに作りました。

広い世界の中でいろいろな人と手を取り合い、心をつなぎ、仲良く生きていこうという思いが込められています。そして、“世界の人々が差別・偏見をなくしエイズ患者・感染者と共に生きよう”という私たちの願いがかなうよう保健委員全員が一針ずつ一生懸命縫いました。

校長室前の廊下に展示しますので、是非見てください。



なお、メッセージキルトは、12月1日(水)～7日(火)まで市役所に展示します。

市役所に行く機会があったらご覧ください。

### ・レッドリボン運動

“HIV やエイズに対する偏見や差別をもちません” という気持ちを表す世界共通のシンボルです。

児童のみなさんは、12月1日から1週間、名札にレッドリボンをつけてください。

